

令和2年3月1日

新型コロナウイルスと認知バイアス

彦根市立病院緩和ケア科 黒丸尊治

- 1、ヒューリスティック（ひらめきや思い付きで判断すること）
 - 1) 感情ヒューリスティック、
…根拠もなく、感情にまかせイメージや連想を膨らませ誤った選択をする傾向
例) ここの宝くじ売り場で買えば1等があたるかも
 - 2) 利用可能性ヒューリスティック
…簡単に想像できること程、現実になりやすいと感じる傾向
例) 飛行機事故が起こると飛行機にのらなくなる
- 2、確率の無視…不確定の状態で、確率を軽視または無視する傾向
例) CVに感染する確率 $200/1 \text{ 億} = 0.0002\% < \text{飛行機事故が起こる確率 } 0.0009\%$
- 3、ネガティビティ・バイアス
…良いニュースよりも悪いニュースの方が気になってしまう傾向
例) 中国の2万7千人の感染者のうち2万にはすでに退院しています
- 4、過剰推測、最悪場面想定バイアス…極端な場面や最悪の状態を想定してしまう傾向
例) もし新型コロナウイルスに感染して死んでしまったらどうしよう
- 5、刺激等価性対称律…AならばBだと聞いて、BならAと勘違いする傾向
例) 「CVに感染すると発熱、咳、だるさといった症状がでる」と聞いて、私、発熱、咳、だるさの症状があるからもしかしてCVに感染した？
- 6、ゼロリスクバイアス
…10あるリスクを1に減らすよりも、1のリスクを0にする方を好む傾向
例) オーガニックしか食べない、小中高をすべて休校にする
- 7、確証バイアス…自分の都合の良い情報を集め、都合の悪い情報はスルーする傾向
例) 季節性インフルエンザの死亡者数は毎年1,000～3,000人程度という情報は無視
- 8、社会的証明…他人と同じように行動していれば正しいと思う傾向
例) ファッションの流行、マスクをして外出する、小さなイベントも中止
- 9、フレーミング効果
…同じ情報でも、状況（フレーム）をどう見るかによって決断の方向性が変わる傾向
例) CV感染者が200人 vs まだ1億1999万9800人はCVに感染しておらず